

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和7年2月26日

事業所名 サルビアの家しんなんよう

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	15	3	・お弁当配達やお出掛けをして分散している ・やや多い時は散歩等にお連れして人数を分散している	・午前中、室内で活動されたご利用者様は午後から散歩等の活動をしていただくなどご利用者様の活動が偏らないように注意する
	2 職員の配置数は適切である	12	5	・その日のスタッフの状況により人員が少ない時はよりスタッフ間の連携をとり対応している	・職員に休みがでたときは、他の事業所から人員を補充するなどの対応をしていく
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	16	2	・やや車イス等の出入りが難しい所もみられる	・室内での段差をなくし、どのご利用者様も安心してご利用いただけるよう、全てのトイレをバリアフリートイレにしている ・やや車イス等の出入りが難しい所は、障害物を置かない等徹底していく
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	13	4	・ミーティングに参加出来なければ回覧が回ってくる。 ・個々のスタッフの負担が違う ・目標設定や情報共有を行っている	・目標設定や情報共有が特定の職員だけにならないよう全員に周知する
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	15	3		
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	12	3		
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている				※非該当
適切な支援の提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	16	1	・定期的に行い、職員のスキルアップに務めている	・事業所内外の研修に適宜参加している
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	16	1	・こまやかとまではいかない	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	15	2	・職員同士が情報を共有し、適切な支援につながるよう有効に活用している	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	16	1	・長期休みやイベントは行っている	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	17	1	・平日のプログラム(課題はされていない)	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	14	3	・平日のレクリエーションを行う頻度が減っているように感じる	・平日はご利用時間が短いので難しい部分もあるが、短時間で出来る課題を考えていく
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	16	2		
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	10	8		
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9	7	・いないので(パート)分からない ・職員間でご利用者様にみんなで同じ対応をできるようにミーティング等をしたい	・職員の勤務形態によらず知識や技術に差が出ないようにしていく
17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	15	3			
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	16	2			
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	14	2	・説明されていないので分からない		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	16	1		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	17	1	・定期的に学校と情報共有を行い、送迎等にかかっている	・電話連絡や送迎時に先生方と情報交換を共有している
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				※非該当
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	12	6	・相談員を通してやりとりしている	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	13	1	・わからない ・知らない	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	13	4	・全員ではない	・助言を受けたり研修に参加した職員は他の職員に研修内容を共有していく
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある				※非該当
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	9	6	・分かりません	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	17		・分かりません	・毎日の活動や連絡事項は連絡帳を活用している ・必要時は保護者への電話連絡も行い、発達の状況や課題について共通理解を持つように努めている
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている				※非該当	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	18			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	17			・助言と支援にばらつきが出ることを防ぐため、児童発達支援管理責任者が対応している
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している				※非該当
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	18		・担当者が対応している	・児童発達支援管理責任者が対応している
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	15	2	・行事予定は長期休みのみある。会報は特にな ・「コドモン」を使用している	・紙面及び連絡用アプリ『コドモン』を使用している
	35	個人情報に十分注意している	16	1		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	17			
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている				※非該当	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	15	1		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	16	1	・定期的に避難訓練を行っている	・避難訓練を毎年行っている
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	17		・今年は重点的に行い虐待防止につとめている	・事業所内外の研修に適宜参加している
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	17			・身体拘束が必要になりそうなご利用者様には同意書の記入をお願いしている
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	14	2	・契約時の情報を共有している	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	16		・事例集の作成をし都度話し合いをし対応している	・ヒヤリハットがあった場合、その都度職員全員に周知している